

# 県病ニュース秋号

【理念】 奉仕・信頼・進歩 当院は敷地内全面禁煙です。

## ウィズコロナと大分県立病院のこれから



院長 藤 司  
とさ 藤 昌 司

県内で最初の新型コロナウイルス患者確認から1年半が過ぎました。この文章を書いている今、何とか第5波も落ち着き、第6波のリスクを頭の片隅に置きながらも、皆さん御自身、御家族、さらに社会の動きが平穏を取り戻しつつある、という状況ではないでしょうか。当院もさすがに1年以上の「緊張状態」の中で対応しているスタッフの身体的、精神的な疲労は言うまでもなく、その中で院内感染を防ぎつつ何とか乗り切ってきたところですよ。

また、外来・入院患者の皆様への面会等を含めた諸種の制

限についても大変心苦しく思っています。御家族や友人と接することは患者さんの精神的な安定にも不可欠であり、ITを活用したオンライン面会システムを導入するなど、なんとか御家族との対話の場をできるだけ提供できるよう工夫してきました。不十分な対応にならざるを得ない点もありましたが、皆様のご協力のおかげで県の基幹病院として、また急性期病院としての任務を何とか全うできていると思えます。

さて、これまでの世界的な感染動向からみて、今後コロナウイルス感染症が「完全に撲滅される可能性は低く、当初から謳われてきた「ウィズコロナ」のあり方を病院として長期的に考えるフェーズに入った感があります。国の対策分科会でも、今後はほとんどの希望者にワクチンが行き渡る頃から、飲食店の第三者認証やワクチン・検査パッケージ等を活用した行動制限の緩和を提言しており、その中で「維持可能な合理的かつ効果的で納得感のある感染対策」を旗印に、具体的に引き続きのマスク着用や三密回避等による自己管理とワクチン接種継続計画とともに、新たな変異株の出現や感染の急速な再拡大にも対応できる医療提供体制の確立を目指しています。この方向性のもと、当院として喫緊の課題として短期的／緊急時の院内診療における柔軟なシフト・連携体制の構築と、その後の中々長期的に必要な人・物・地域連携の動きをシミュレートした準備が必要であり、まさに災害対策、防災危機管理と全く同じ考え方に立った全病的な

計画が必要です。当然のことながら、その内容は患者さんの安全とQOLに十分に配慮したものでなければなりません。身体だけでなく、心(精神面)にも気を配った医療が求められていることも強く認識せねばなりません。

今回のコロナウイルス感染症は、上述のような意味でまさに院内、院外の医療体制の功罪を抉り出した出来事とも言えます。病院で起こった諸種の問題点を「走りながら」考え、解決していく努力を続けていく所存です。まだまだ長い道のりですが、院内スタッフ、当院受診の皆様ともに引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



# ご挨拶



## 総合周産期母子医療センター 所長 飯田 浩一

2021年4月より総合周産期母子医療センター所長を拝命いたしました新生児科の飯田浩一です。

大分県の周産期センターは大分大学医学部附属病院、別府医療センター、中津市民病院、そして当院の4施設です。大分県内での出産の多くは開業産婦人科のクリニックで行われています。一方、妊娠高血圧や切迫早産など出産のリスクの高い妊婦さんは周産期センター4施設に紹介されて出産し、うまれた新生児はNICUで治療を受けます。また、クリニックで出生した新生児でも呼吸がきつかったりうまく哺乳が進まなかったりして入院する新生児もいます。

大分県では昨年は7500人余りの新生児が誕生しましたが、その1割強の児が入院を必要としています。当院は大分県唯一の総合周産期母子医療センターであり、ハイリスク分娩を中心に年600件ほどの分娩があり、400人ほどの新生児が治療を受けています。また、年100件以上、新生児専用救急車に新生児科医が同乗し、クリニックまで入院を必要とする新生児を迎えに行っています。

今後も大分県の周産期医療の中核施設として大分県の妊産婦さんや新生児のために尽力していきたいと思えます。



## 内分泌・代謝内科 部長 田中 克宏

本年4月に着任いたしました田中克宏と申します。平成2年に医師となり初めての県立病院の勤務ですが、経験も活かしながらい県民の皆様のお役に立ちたいと存じております。

当科は糖尿病を主体とする代謝疾患、下垂体・甲状腺・副腎・電解質の異常など内分泌疾患の診療を行っています。外来では医療機関からのご紹介や検診異常で受診される方が多く、入院では糖尿病の管理や合併症の治療を行い、内分泌疾患はホルモン負荷試験による評価や放射線科の協力のもと核医学検査も施行しています。

糖尿病は病状や生活を考慮した治療の選択が必要であり、看護師、管理栄養士などの医療スタッフとともに患者さんのケアを支援します。かかりつけ医の先生方との連携診療にも取り組んでいます。患者さんや地域でのご要望に応じていけるように、一同努力して参ります。



## 小児外科 部長 伊崎 智子

2021年4月より着任しました小児外科の伊崎と申します。

大分県立病院での勤務は1999年の半年間、2011年4月からの2年間にひきつづき3回目となります。顔なじみの先生方、パラメディカルの方々もおられ、心強く感じています。

小児外科では新生児からおよそ15歳までのお子さんの治療を担当しますが、その疾患は多様です。乳児の肛門周囲膿瘍、幼児の単径ヘルニア、学童の虫垂炎などの比較的耳にすることがある病気から、10万出生にひとりの赤ちゃんがかかるような病気もあります。

年々少子化の影響を受け、手術や外来の患者さんの総数は減少傾向にありますが、小児外科特有の疾患、小児の緊急手術に対応できる数少ない施設ですので、場合によっては緊急対応のため外来診察の予定変更をお願いすることがあります。その際はご不便をおかけしますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 新任の



## 眼科部長 山田 喜三郎

令和3年4月に眼科部長に着任いたしました山田喜三郎と申します。

県立病院には平成12年2月から平成13年8月まで研修医時代にお世話になり、平成27年4月に眼科副部長として約13年ぶりに赴任しましたので、今年で7年目です。

本年1月に波津久智伸先生（現副部長）が、4月に佐藤義樹先生（専攻医）が着任したことで新体制が整いました。前任の池辺徹先生が約16年半の期間を通して築かれた患者さんの眼科への信頼を損なわぬよう努めつつ、外来待ち時間など長年抱えてきたマイナスの部分改善すべく外来や検査の枠組みの見直しに取り組んでいます。

長年に渡り眼科に通院いただいている患者さんにはご迷惑をおかけするかもしれませんが、診療の質を上げながら患者さんの満足度を改善できるよう、スタッフ一同で頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



## 乳腺外科 部長 増野 浩二郎

今年4月よりがんセンター乳腺外科部長に就任しました。

県立病院には2005年4月に着任以来、16年ほど乳がん診療に携わり、多くの患者さんに関わらせていただきました。

乳がんは女性がかかる頻度が最も高いがんで、ここ大分県でも乳がんと診断される患者さんは年々増加しており、その3分の1ほどの患者さんが当院での治療を受けておられます。診断や治療においても年々進歩しており、新しい知識や技術を必要とします。治療だけにとどまらず、術後も安心して生活していくためには身体的、精神的ケアに対しても専門的知識を必要とします。県下の乳がん患者さん皆さんに最新、最適の治療環境が提供できるようにスタッフともども一丸となって診療にあたっていく所存です。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



## 事務局長 廣末 隆

本年4月に事務局長を拝命しました廣末隆と申します。

当院の勤務は3回目となります。最初の勤務は平成6年からで、当院が高砂町から現在地に移転した2年後のことでした。その後、総合周産期母子医療センター、救命救急センターなどが新設され、また昨年10月には精神医療センターの新設に至り、着実に医療機能が充実してきたことを実感しています。

大分県立病院は、県民医療の基幹病院として、県民の安心・安全を医療面で支えるべく、継続して良質な医療を提供する役割を担っています。その中で、事務局は、総務経営課、会計管理課及び医事・相談課で構成されており、病院の運営・管理面を下支えする大事な役割を担っています。

今後とも、患者さんやご家族のことを第一に考えながら、職員一丸となって、県民の皆様から信頼され、支持される病院づくりに努めてまいります。

## 薬の服用タイミング

飲み薬は決められたタイミングに飲まないとう効果がなかったり、副作用を生じたりします。医師や薬剤師などの説明を受け、必ず決められたタイミングで服用しましょう。用法の指示のうち、「食前」、「食後」、「食間」、「就寝前」、「頓服」とは次のタイミングをいいます。

- 「食前」: 食事の1時間～30分前(胃の中に食べ物が入っていないとき)
- 「食後」: 食事の後30分以内(胃の中に食べ物が入っているとき)
- 「食間」: 食事と食事の間の空腹時(食事の2時間後が目安)※食事中の服用ではない。
- 「就寝前」: 就寝30分くらい前
- 「頓服」: 発作時や症状のひどいとき



その他、検査前や特定の治療を行う前に飲む薬もあります。「検査〇時間前に服用」、「治療薬投与の〇時間前に内服」等の説明がされた場合は、指示に従って薬を飲んでください。

薬を飲み忘れたときは、思い出したときにすぐ飲んでください。ただし、次の服用時間が迫っている場合は1回分は飲まずに、その次からいつものように飲みます。2回分を一度に飲んではいけません。

なお、薬の種類によっては、飲み忘れたときの対応が異なる場合があります。医師や薬剤師に確認しておきましょう。

## 血液型について

安全な輸血を行ううえで最も大切なのはABO血液型とRh血液型の2つの血液型で、いずれも赤血球表面の抗原を表しています。

ABO血液型では、A型、B型、O型、AB型の4つに分けられます。赤血球表面にA抗原があればA型、B抗原があればB型、A抗原とB抗原の両方があればAB型、A抗原もB抗原もないものをO型と判定しています。

A型の人には血液中に抗B抗体、B型は抗A抗体、O型はその両方を持っていますが、AB型はどちらの抗体も持ちません。



	A型	O型	B型	AB型
赤血球模式図				
抗原	● A抗原	抗原無し	▲ B抗原	●▲ AB抗原
抗体	抗B抗体	抗A、抗B抗体	抗A抗体	抗体無し
日本人割合	40%	30%	20%	10%

抗B抗体を持っている人にB抗原がある血液を輸血すると、赤血球が破壊されてしまいます。ですからA型の人にB型やAB型の血液は輸血できません。

輸血をする場合は同じ血液型を使用するのが基本ですが、O型の赤血球にはA抗原やB抗原がないので、緊急時には血液型を問わずにO型の血液を使用することが可能です。

一方、Rh血液型にはD、C、c、E、eの5つの代表的な抗原がありますが、一般的に赤血球上にD抗原がある場合Rh(+)、ない場合Rh(-)と表現されます。日本人ではRh(-)は0.5%(200人に1人)程度と少ない割合となっています。

## 看護師の特定行為研修および修了者の活動について

大分県立病院では時代に合った質の高い急性期の医療・看護の提供を目指しています。

その一つとして、令和2年8月に厚生労働省の特定行為研修の指定機関となり、「外科術後病棟管理領域」において、医師の包括指示(手順書)の下で15の医療行為を実施できる看護師を育成しています。患者さんの状態を適切に把握・分析し、正確で安全な医療行為を実施するために、5年以上の経験を持つ看護師が、1年かけて医師や看護師等の指導下で、働きながら高度で専門的な知識と技術を身につけています。



今年の9月に、3名の看護師が研修を修了しました。今後、さらに病棟でのトレーニング期間を経て、活動を開始していきます。

医師の包括指示(手順書)とは、手順書に規定されている病状の範囲であると看護師が判断した場合に、特定行為を実施してよいと指示する文書です。

一例ですが、手術の後、傷に入っているドレーン(管)を特定行為研修修了者の判断で抜けるようになります。医師の外来診療や手術が終わるのを待って夕方になっていた処置を、患者さんの状態や生活に合わせて実施することが可能となります。

特定行為研修修了者は、まだ3名ですので、患者さんへのタイムリーな行為の提供には限りがあります。今後、毎年育成していきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

(教育支援室 看護師長 品川陽子 / 特定行為研修専従看護師 野田真由美)

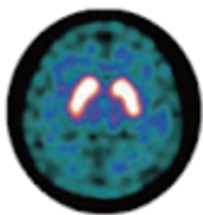
## ドパミントランスポーターシンチグラフィ検査の紹介

当院では2020年12月より放射性医薬品「ダットスキャン静注」を用いた「ドパミントランスポーターシンチグラフィ検査」を開始しました。

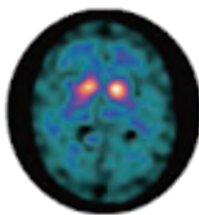
この検査は、パーキンソン症候群やレビー小体型認知症で障害される黒色線条体ドパミン神経の終末部の状態を画像化します。これまでCT検査やMRI検査ではわからなかったドパミン神経の変性・脱落の程度の評価が可能となり、早期診断や鑑別診断に役立つ検査となっています。

画像については、正常であれば尾状核及び被殻に検査薬がほぼ均等に高集積し、左右対称の三日月型の形状を呈します。しかし疾患例では左右非対称であったり、集積が全体的に低下します。検査方法は、検査薬を静脈注射し、注射4時間後に頭部を撮像します。検査時間は約30分間、装置のベッドに仰向けで横になっているだけで終わります。

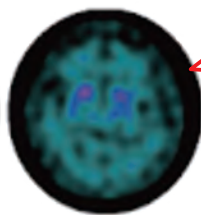
【正常例】



【疾患例】



パーキンソン病



レビー小体型  
認知症

欠けている部分でドパミン神経が変性・脱落しています


放射線技術部では、患者様の診断に有意義な画像情報を提供できるよう努めています。ご不明な点、不安なことがあればお気軽にお尋ね下さい。

(放射線技術部 主任診療放射線技師 池田香世)


## 「食事の塩分を見直そう」生活習慣病予防シリーズ<その1>

今回から、生活習慣病予防の食事のポイントを、シリーズで紹介します。第1回は、「減塩」です。ちょっとしたことで無理なくできる工夫をご紹介します。現在、心臓病や腎臓病で治療中の方も、食習慣を見直してみてもいいかもしれません。


**★練り物を減らす**  
中ちくわ1本30g:  
塩分約0.8g減




**★めんの汁を残す**  
うどん1杯のつゆを  
残す:塩分約3.5g減



**★汁の回数や量を減らす**  
みそ汁2杯を1杯に:  
塩分約1.2g減



**★しょうゆを減塩しように  
ゆに変更**  
小さじ1杯(5cc)  
あたり:塩分  
約0.4g減




**★ほかにもできるちょっとした工夫**

副菜: 主菜に塩分を効かせたいときは、副菜の塩分は控え目に(味にメリハリをつける)

副菜: 料理の品数が多いほど、1品あたりの塩分は薄めに

副菜: サラダは、しょうゆベースの和風ドレッシングよりマヨネーズや洋風ドレッシングに

副菜: 煮物は、だしを効かせ、火が通ってから最後に味付けをする(煮染めない)



主菜: 1日3食として、味付けは1日の塩分の1/6を目安にしてみる(1/3を主菜と副菜に配分するとして)

主菜: 焼魚は素焼きにして香ばしく焼いて焼きたてを、小皿にとったしょうゆや減塩しょうゆなどにつけながら食べる

主菜・副菜: かぼすやレモンなどの柑橘類、酢、だし、香辛料を活用し、風味で食べる

副菜: 汁ものは、野菜で具だくさんに作って、小さいお椀に

●調味料の塩分※2 (小さじ1杯:5ccあたり)

濃厚しょうゆ	約0.9g
薄口しょうゆ	約1g
減塩しょうゆ	約0.5g
ぼん酢しょうゆ	約0.5g
中濃ソース	約0.4g
ケチャップ	約0.2g
麦みそ	約0.6g
マヨネーズ	約0.1g


※2 日本食品標準成分表2020年版(八訂)(文部科学省)

●1日当たりの塩分摂取量(18歳以上)

	生活習慣病予防のための目標量※1	高血圧及び慢性腎臓病重症化予防のための量	現状(令和元年国民健康・栄養調査)※1
男性	7.5g未満	6g未満	10.9g
女性	6.5g未満		9.3g

※1 日本人の食事摂取基準 2020年版(厚生労働省)

塩分 6g



(栄養管理部 管理栄養士 白井範子)

## 新しくなったリハビリテーション室のご紹介

リハビリテーション科は、令和2年3月28日に本館1階から本館増設棟2階(がんセンター、精神医療センター側)へ移転しました。南東方向に窓を設置し、広く明るくなりました。運動療法室に加え、プライバシーにも配慮した個室の作業療法室、言語聴覚室も新設し、より良い環境でリハビリテーションの提供ができるようになりました。

令和2年2月より言語聴覚士が配置され、同年10月の精神医療センター開設に伴い、作業療法士が1名増員となりました。令和3年10月現在、医師2名、理学療法士5名、作業療法士2名、言語聴覚士2名、看護師1名にてリハビリテーション診療、業務を行っています。

また、設備面では新しくレッドコードを導入しました。天井から吊した赤いロープ(Red Code)を用いて体を支えることにより、負荷をかけずにバランス・柔軟性の向上、体幹の筋力訓練が行えます。

当院は、外来リハビリテーションは行っておりませんが、運動器系・脳神経系・呼吸器系・循環器系といった、院内全診療科に対応した入院中の急性期リハビリテーションの充実にも取り組んで参ります。

(リハビリテーション科 部長 井上博文)



# 医療ネットワーク

## あなたは検診を遠ざけていませんか？

「新型コロナウイルスが流行するようになって毎年の検診をやめた」、「流行が落ち着くまで検診はやめておこう」など、検診を手控えてはいませんか？  
病気の早期発見が遅れてしまう結果に…

病院も、検診センターも感染対策を講じて、  
安全・安心な診療や検診に取り組んでいます!!

～「コロナとともに」の時代のなかで！～  
コロナ禍でも医療機関で必要な受診を！

### 1.がん検診

\*過度な受診控えにより  
(2020年3割減)1万人  
以上のがんが未発見!  
(日本対がん協会資料)  
早期発見ができず、治療  
の困難な進行がんが増加  
することに…

精密検査  
(二次検診)が  
必要になったら…



電話  
予約



WEB  
予約



大分県立病院

※二次検診が必要な方、紹介状をご持参の方、  
いずれも非紹介患者加算料はかかりません。

### 2.生活習慣病の 健診・受診

\*糖尿病など生活習慣病  
の放置は心臓病や脳卒中  
の危険が上昇!  
コロナウイルス感染症に  
罹患しやすく、重症化する  
ことに…

かかりつけ医  
への相談



紹介状  
持参



(文責:患者総合支援センター 東原清美 池部正彦)

# 外来診療一覧表

注) 診療日が変更になる場合もありますので、予めご了承ください。  
(令和3年10月1日現在)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
循環器内科		○	○	○	○	○
内分泌・代謝内科		○	○	○	○	○
消化器内科		○	○	○	○	○
腎臓内科		○	○	○	○	○
膠原病・ リウマチ内科		○	休診	○	○	○
呼吸器内科	新患 再来	○	○	○	○	○
呼吸器腫瘍内科		○	○	○	○	○
血液内科		○	○	○	○	○
神経内科		○	○	○	○	○
外科	消化器 乳腺	○	○	○	○	○
脳神経外科		手術日 休診	○	○	○	手術日 休診
呼吸器外科		手術日 休診	○	手術日 休診	○	○
心臓血管外科		○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
整形外科		○	○	手術日 休診	○	○
形成外科		手術日 休診	手術日 予約のみ	○	○	○
眼科		○	手術日 予約のみ	○	手術日 予約のみ	○

診療科	曜日	月	火	水	木	金
耳鼻咽喉科		○	○	手術日 休診	○	手術日 休診
婦人科	新患 再来	○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
産科		○	○	○	○	○
小児科		○	○	○	○	○
新生児科		○	○	○	○	○
小児外科		○	○	○	手術日 休診	○
内視鏡科	消化管 気管支	○	○	○	○	○
皮膚科		○	手術日 検査日 休診	○	手術日 検査日 休診	○
泌尿器科	新患 再来	○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
精神科		○	○	○	○	○
緩和ケア外来		○ 15時 から	休診	休診	休診	休診
放射線科		○	○	○	○	○
歯科口腔外科		○	予約 のみ	○	予約 のみ	○
外来化学療法室		○	○	○	○	○
診療科の判断が 困難な場合の 担当診療科		消化器 内科	1・3・5週 内分泌・ 代謝内科	呼吸器 内科	神経 内科	血液 内科

**アクセス**

JR: 大分駅からタクシーで約15分または  
南大分駅からタクシーで約8分  
バス: 大分駅前バス停からバス・徒歩を含めて約25分  
(大分市内中心部から約25分間隔で運行)  
駐車場: 有料駐車場(約400台)完備(1時間まで無料)

**受付時間** 午前8時～午前11時

**救急患者は24時間受入**

紹介による受診に関する事は…  
**地域医療連携室**  
平日(土・日・祝日除く)  
午前8時15分～午後5時(受付は11時まで)  
TEL 097-546-7129  
FAX 097-546-7368

**診療開始時間** 午前8時30分

**休診日** 土・日・祝日・年末年始  
(12月29日～1月3日)

療養中の心配事や不安などは…  
**患者総合支援センター**  
平日(土・日・祝日除く)  
午前8時30分～午後5時  
TEL 097-546-7125

Oita Prefectural Hospital  
**大分県立病院**

〒870-8511 大分市豊饒2丁目8番1号

TEL 097-546-7111～2(代表) FAX 097-546-0725 総務経営課広報係  
E-mail a80200@pref.oita.lg.jp ホームページ <https://www.oitapref-hosp.jp/>

※当ニュースへのご意見・ご感想は1階中央待合ホール備付けのアンケート用紙をご利用ください。

